



キラキラ笑顔

合い言葉 「自分から進んで『笑顔』で行動する」

2月 性教育月間

～命や体の大切さに気づき、互いを認め合おう～

2月は、「命や体についての科学的認識を育てる」「自分らしく生きる力をつける」「人間関係を豊かに育てる」ことを目的に学年の発達段階に合わせた性教育の指導を行い、よりよい学びをめざします。

5年生は、松尾レディースクリニック院長の松尾先生に講話をいただきました。以下は、子どもの感想です。

「私は、『差別をしない』という言葉と『一人一人が宝物』という言葉が一番心に残りました。手がない人だったり、指がなかったりしても、障害はかわいそうではないので、生きていくことに意味があるんだなと改めて感じました。自分の命も人の命も大切にしていきたいです。」

「松尾先生の話から、私たち一人一人が宝物だということやそれぞれの個性の大切なこと、いろいろな子がいることがわかりました。まず、『一人一人が宝物』から、人の宝物を傷つけないことや、差別をしない、線を引かない（人のことを自分の中でわけない）について学びました。次に、いろいろな子供がいることが特に心に残りました。私は、障害の人や何かが難しい人のことを『かわいそう』と思っていたのかもしれませんが、その人は別に気にしてないし悪いことじゃないとわかりました。」



大谷翔平選手のグローブに込められた思い

「夢」と「勇気を持って」

2月7日(水)の全校集会で、大谷翔平選手からプレゼントされたグローブのお披露目をしました。

野球をしている子供たちにとっては、憧れのグローブです。本校に5人の野球選手がいましたので、第1号として使ってもらいました。上手なキャッチボールに大きな拍手がわきました。また、その児童たちに大谷選手のことについて尋ねると「二刀流で活躍する素晴らしい選手」

「ゴミを拾って人の捨てた『運』を自分の運にかえている人」
「周りの人への感謝を忘れない人」などプレーヤーとして、



人としての考え方の素晴らしい面についても話してくれました。このグローブは、全児童に触れてもらい、大谷選手の思いをみんなでも共有したいと思います。



(右利き用2つ、左利き用1つで大・中・小サイズ)

感謝を伝える「ありがとう集会」

2月15日(木)1年間お世話になった「見守りたい」「まる付けボランティア」「学習でのGT(ゲストティーチャー)」の方々等をおよびし、「ありがとう集会」を行います。今年は、昼の時間(13:25～)の開催です。皆様のおかげで子供たちの学びや安全を確保することができました。ありがとうございました。子供たちは、感謝を伝えることを楽しみにしています。多くの皆様の参加をお待ちしています。